

鎌倉投信が
選ぶ
「いい会社」

ツムラ編

漢方で世の中を良くする いい会社

短期的な利ざやで稼ぐのではなく、これからの社会に本当に必要とされる「いい会社」に投資するという独自の投資理念をもつ鎌倉投信。その代表の鎌田社長と「いい会社」として投資先に選定されたツムラの加藤社長が対談。漢方事業の展望とツムラの事業戦略を聞いた。



株式会社ツムラ 代表取締役社長
加藤照和氏

西洋医学との融合進み、市場拡大

加藤 当社の医療用漢方製剤33品目が、初めて薬価収載（保険適用）されてから今年でちょうど40年。現在当社では129品目が認められていますが、多くの医師のもと、様々な患者様に漢方薬を服用していただく機会が増え、ここ20年ほどで出荷量が3倍程度に増えています。

鎌田 2000年ごろから市場が拡大し続け、現在は1400億円を超えていますね。そのうち84.3%のシェアをツムラが占めています。

加藤 増加の背景には、西洋医学がベースの国民医療において、西洋薬と漢方薬の両者の良い点を組み合わせた治療が増えたことがあると思います。西洋薬は1つの物質成分を抽出、合成して作る単一成分が基本です。対して漢方薬は、生薬といわれる植物などを加工したものを複数配合します。多成分である生薬の組み合わせの妙により、1+1=2ではなく3にも4にもなります。そのため1つの薬で複数の症状に対応することも可能で、

例えば数種類の西洋薬を処方しなければならない場合でも、漢方薬では1種類で対応することもあり、患者様の体質や病気の状態に応じた治療の選択が可能です。

鎌田 西洋医学との融合の中で相互補完が進んでいるのですね。現代社会では少子高齢化やそれに伴う医療費の増大が進み、健康寿命の一層の延伸が求められています。

加藤 当社でも重点領域に高齢者・女性・がん領域を挙げています。例えば女性が悩まされることが多い「冷え症」。「冷えは万病のもと」といわれるように、漢方医学では病気の徴候と捉え、治療の対象としています。また認知症の行動心理症状やフレイル（虚弱）に対する取り組み、がんの術後機能障害や抗がん剤の副作用の軽減などにも注力しています。

鎌田 超高齢社会を迎え、看護や介護の負担をいかに減らしていくかは家庭においても国の財政においても大きなポイントとなるでしょう。また女性や高齢者が活躍できる環境づくりも必要です。現代社会はすでに物質的には十分満たされています。これからの企業の持続的な成長は金銭的・物質的な拡大によるものではなく、御社のように本業を通じた社会的課題の解決による社会や経済の質的な発展の中にあると考えます。

エビデンスを確立し、グローバル展開を

加藤 科学の進歩につれ様々な手法や機器が開発され、今まで未解明だった漢方薬の作用機序も徐々に明らかになってきました。経営理念である「自然と健康を科学する」が示すように、エビデンス（科学的根拠）を確立しながら、漢方薬をより科学的に解明する活動を進めています。エビデンスデータを積極的に提供することで、大学病院などでの臨床使用も大幅に拡大しました。

鎌田 漢方薬についてエビデンスを明らかにするのはコペルニクスの発想の転換だと思います。



鎌倉投信株式会社 代表取締役社長
鎌田恭幸氏

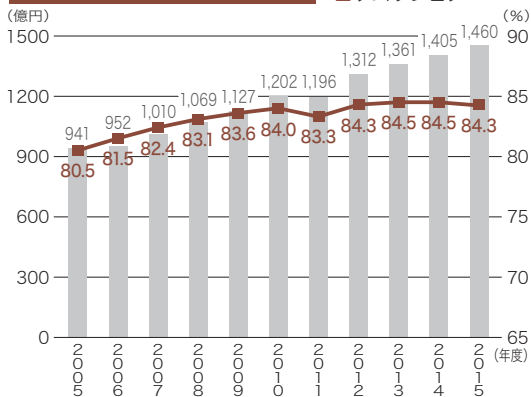
知ってる？漢方のこと。

漢方医学は日本の伝統医学です。5～6世紀以降、中国を起源とする伝統医学が日本へ伝わった後、1400年以上かけて日本の風土や日本人の体質に合わせて独自に発展してきました。江戸時代中期、オランダから伝来した医学を蘭方と呼び、それと区別するため日本の伝統医学が漢方と呼ばれるようになりました。中国で独自に発展した伝統医学は中医学、使用される薬は中薬と呼ばれ、漢方とは異なる医学体系を形成しています。

漢方薬は漢方医学の理論に基づき原則2種類以上の生薬が配合された医薬品です。日本では、医師が処方し健康保険が適用される医療用の漢方薬*は148種類あり、医療のなかで広く用いられています。

*健康保険の適用については、事前に医療機関に確認してください。

医療用漢方製剤の市場動向



Copyright 2016 | MSヘルス「JPM2006年3月MAT～2016年3月MAT」をもとに作成 ※無断転載禁止

高齢化の進展や医療費の増大などは世界的に共通の課題であり、今後はグローバルな市場での漢方薬の展開が期待されます。その際には、評価の指標となるエビデンスの確立は不可欠です。

加藤 現在、当社の主力製品の米国上市を目指しています。臨床試験はもちろんのこと、複数の植物などを原料とする漢方薬の科学的品質評価法確立に向け、活動を進めています。また、5月には中国での新規事業を発表しました。生薬調達約8割を担う中国で、当社は30年以上にわたり安定的な調達を実現してきました。今回発表した事業は中国伝統医療と中国国民の健康に貢献するスキームで、中国国内で使用される生薬の品質向上や資源保護に寄与しながら、日本向け生薬のさらなる安定調達にもつなげていけると確信しています。

高品質な生薬を安定供給

鎌田 品質の高い漢方薬を世界に広める上では、トレーサビリティの確立も重要なポイントだと思います。漢方薬というものを突き詰めた会社は世界中を見渡してもツムラ以外にないと思います。生薬を生産する産地と共に成長するという執念に近い感覚が、人の心や企業を動かしているのではないのでしょうか。

加藤 安全性や有効性はもとより、医薬品の品質とは何かと問われたとき、均質性・安定性という点も重要です。生薬調達で中国と良好な関係を築けた背景には、契約栽培による安定的な取引と、資源枯渇対策や環境保護を目的に共同で栽培研究を続けてきたことなどが挙げられます。私たちは「品質は畑から」という思いで、高品質な生薬を安定調達できる体制を生産者の皆さんと共に築き上げてきました。同時に生産拠点を複線化するため、ラオスや日本国内でも栽培を拡大し、体制を整備しています。国民医療への貢献を目的とした漢方・生薬事業の持続的な成長と発展には、原料生薬の品質・量・価格を安定的に確保し続けることが不可欠です。急な生産拡大はできませんが、「巡航速度」での経営を大事にしていきたいと思っています。

鎌田 投資家の目から見れば、品質を落としてまでの規模拡大を目指さない姿勢は、むしろ自らの強みを追求する姿として映ります。今後も本業を通じた社会貢献を続けていきたいと思っています。

広告

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。

